



やまゆり

学校だより

令和5年7月6日
26号
学校長 杉本賢二

校訓 「和の心」
学校教育目標 「社会に貢献しながら自立する生徒の育成」一気づき・考え・実行する一
校内研究重点 「WEBQUを活用し、学級の安定と活性化を図る」

学校教育重点 「豊かな心の育成」

7月6日の甲府空襲を語り継ぐ

78年前、戦争によって甲府市民1127人が犠牲

甲府空襲

1945年7月6日深夜から、7日未明にかけて県内最大の被害をもたらした空襲。米軍のB29爆撃機によって、1,127人が犠牲となり、8万人以上が被災した。甲府の市街地の70%以上が焦土と化した。地方の空襲で1,000人以上の死者が出た例は少ない。

「元山梨大学の学長」さんの証言と思い

78年前の7月6日の深夜から7月7日の未明にかけて、「甲府空襲」によって1,127名の人々の命が失われた。

1945年7月6日18時12分(※時間表記は日本時間)南太平洋グアム島を出発したB29爆撃機を主力とする131機は、深夜23時47分甲府市上空に到着した。

まず、塚原および里吉町に爆撃ポジションを決めるためのマーカー弾を投下。これを合図に以後95分間襲撃。この間投下された爆弾は970.4トン。この結果、甲府市域の74%が壊滅した。しかし、この間、地上からは一発の砲弾も反撃されなかったという。

私は、このとき5歳6ヶ月。当時は、故郷市川大門町(現、市川三郷)に住んでいた。空襲警報に起こされて、防空壕に逃げ込むために漆黒の闇に覆われた庭にとび出した。上空は真っ暗。おそらく梅雨時のことで空は厚い雲に覆われていた。その頭上は、一機一機の機影が見えるかと思われるような低空を北へと向かう飛行機の猛烈な爆音だった。次から次へとそれぞれ異なる爆音をまき上げながら一編隊が通過していった。それが行き過ぎた頃から、北の空がうっすらと、やがて朝焼けが始まったかと思われるように真っ赤になっていった。

すでに2度目の召集を受けて不在の父に代わって一家を指揮していた母が一言「甲府がやられている」とつぶやいたのを今でも脳裏にしっかり記憶している。甲府には、一族の親戚や知人が多数いた。かくて、この紅蓮の炎の下で無残に殺されていった1,127人。傷ついた人1,239人、その後も行方不明の35人。

私たちは、この悲しみを永遠に記憶し、語り伝えていかななくてはならない。「平和」であることの大切さと身近な平和を創る努力の大切さも再確認したい。

戦後78年。しかし、今も世界ではいたるところで戦争によって多くの一般市民までが命を奪われている。「問題の解決に暴力や武器を使い、人の心や体、命を奪う事ことはしてはいけない」ことを教育として生徒に指導していきたい。

また、山梨県や富士吉田、大月市においても空襲で多くの方々の命が奪われた事実は決して忘れてはいけないことです。歴史を学ぶことは、より良い未来を創るためだと考えます。

※第41回吉田空襲展 2023年7月21日(金)～7月23日(日) 午前9時～16時

学校教育重点目標 「生徒の良さを伸ばし、課題を改善する連携」

大月警察署管内学校が警察と連携会議をしました

昨日、大月警察署で大月警察署管内の小・中・高校の教職員が集まり、警察との連携会議をしました。内容は、大月警察署長の話、青少年に関わる警察事案の報告・説明、役員承認、各校からの情報交換、防犯・交通安全弁論大会について等でした。防犯弁論大会は8月30日です。

大月警察署からの青少年に関わる警察事案の説明

1 令和4年度の青少年に関わる警察事案の内容

- ① 犯罪による検挙 2件 (暴行・器物損壊)
- ② 少年補導 76件 (飲酒・喫煙・深夜徘徊等が主な内容)
- ③ 小・中・高校生への声かけ等の事案 26件

・どこへ行くの? ・〇〇を教えて? 等による声かけ 13件
・つきまとい 3件
・性的な言動 4件
・写真を無断で撮る・凝視し続ける 6件

- ④ 令和5年度はすでに上記の事案は22件起こっている状況

⑤ 警察からのお願い

- 1) 声かけ事案等はすぐに警察に通報して下さい。
- 2) 警察はすぐに現場に向かうので、場所や様子について説明していただくことに協力をお願いします。

2 SNS等を利用した犯罪への誘いに注意して欲しい

大月管内では、本年度いわゆる「闇バイト」に連絡した少年が、騙されて外国に出国して犯罪に利用されそうになった事案を、出国寸前で未然に阻止した事案もある。

3 杉本から感謝と質問

- ① 生活安全課さんは、定期的に各校を巡回し、情報提供や相談にのってくださっている。
- ② 道志村では、バイク等によるスピード違反や事故が多く、安全運転への啓発や巡回、取り締まりをして村の治安の維持・向上に尽力して下さっている。道志村駐在所の深澤さんもほぼ毎日登下校時の安全に努めて下さっている。
- ③ 以前、電話のFAXで県下の学校に「爆破予告」が何度か送られたが、その後の捜査等の状況についてお教えいただきたい。
 - 1) 爆破予告FAXは、外国から送られており特定が難しい。検挙には至っていない。
 - 2) 一番大事なのは生徒や先生方を守ること。すぐに通報を。すぐ駆けつけて対応する。



学校教育重点目標 「居心地良く、やる気のある学級づくり」

本校の校内研究の説明

1 生徒の実態(小規模校の特徴)

良い点: ○素直で純粋。真面目な生徒が多い等、家庭や地域の教育力による成果も多い。

課題 : ①人間関係や男女の固定、発言者の固定等による階層化。

- ↓
- ・不安や緊張が高まり、主体性が低下する。
 - ・単級で学級が荒れると階層化や序列化が強化され、長期化する。
 - ・序列化・階層化のある集団では、同調と忖度が主流となり、自己開示が難しい。
 - ・階層化は集団を安定させるために、改善する意識が低下する。
 - ・単級の安定と活性化による、主体性・協働性向上の研究はほとんど例がない。

②学習等で創意工夫して結果を出すための努力が必要。

2 本校の校内研究の考え方と実践

- ① 専門家の指導・助言 早稲田大学河村茂雄研究室からの定期的な指導・相談体制
※ 標準化検査の実施・研究発表・公開授業・専門家の指導→指導の公開・適正化
- ② いじめ(全国65万件)不登校24万人・山梨県(R3・小中で1,600人)の実態に対し、業務の最優先でいじめと不登校対策に取り組んでいる。
- ③ 学級経営を管理職も含め組織で実践している。学年担任制・生徒指導には基本、全職員が関わっている。各学年の状況に差が無い。
- ④ 安定と活性化を両立した学級経営は非常に難しい。小規模校ではさらに難しいが、本校では高いレベルで実現できていることを河村研究室からも評価されている。

3 1学期の成果・課題

安定 ・1学期のいじめ認知は2件。冷やかし・からかいによるもの。その後も毎日確認し、約3ヶ月後には解消できると思われる。暴力案件や逸脱行為等は皆無である。

・学級の班を居場所にする取り組みによって、配慮と関わりの力を発揮しながら生徒の学級での満足度を限りなく高くできている。(標準化検査・観察・面接)

主体性
活性化 ・上記の安定を基盤に、不安や緊張を低下し、一人一人の主体性は向上している。

・学習指導における「単元を貫く課題解決学習」での発言の機会、合同朝の会・帰りの会等で異学年の中でも主体的な発言が増えている。

・部活動や委員会等での主体的な活動の向上。

課題 ・発言の単発化。意見交流を重ねてより良い考えや、新たな考えを創造できる話し合いに課題がある。

・思いつきの発言。基礎的な知識や技能を活用して、根拠ある発言や説得力ある表現に課題がある。(感情交流・知的交流を目指す)

4 自律した学習者の育成 今後の夏休み・受験勉強にも主体的に学習する生徒を育成する。

学校教育重点目標 「豊かな心の育成」

相談場所の紹介

今後夏休みを迎えます。心身の不調や悩みを感じたら、学校だけでなく下記の窓口も活用できます。

眠れない・怒りやすくなった・口数が減った・食欲がない・不安を感じる・引きこもりがち

1 いのちのSOS (NPO法人 自殺対策支援センターライフリンク)

電話 0120-061-338

月・木 0時～24時(24時間) 火～水/金～日 8時～24時

2 よりそいホットライン(一般社団法人 社会的包摂サポートセンター)

電話 0120-279-338 (24時間)

3 いのちの電話 (一般社団法人 日本いのちの電話連盟)

電話 0120-783-556

毎日 16時～21時 毎月10日 8時～翌日8時(24時間)

電話 0570-783-556

毎日 10時～22時

4 心の健康相談統一ダイヤル(地方自治体の窓口)

0570-064-556

5 いじめや不安な気持ちの相談

24時間子供SOSダイヤル 0120-0-78310(なやみいおう)

6 SNS相談

まもろうよこころ

検索